

ユニセフ学校通信

発行：2018年9月
(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部
〒108-8607
東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス
☎ 03-5789-2014

すべての子どもに、チャンス。

いま、世界にはおよそ23億人の子ども*が暮らしています。その中には、日本ではなかなか想像できないような厳しい状況下でがんばっている子どもたちもいます。生きのび、健やかに育ち、学び、生まれもった可能性を十分に伸ばすチャンスを得ることができれば、子どもは自らの力で人生を切り拓き、この世界をより良いものに変えていくことができるでしょう。しかし、紛争や災害、貧困などが子どもたちからさまざまなチャンスを奪っています。世界中の子どもたちの状況、そして、子どもたちの命と健康を守るためにユニセフがしている活動を知り、すべての子どもたちのチャンスを守り、みんなが協力しあってさまざまな問題を解決できる世界を築くために何ができるか一緒に考えてみませんか。

(*世界子供白書2017 18歳未満人口、ユニセフ)

バングラデシュ・ミャンマー

ロヒンギャ難民 - 生きるチャンスを。



© UNICEF/UN0119963/Brown



© UNICEF/UN0119955/Brown

2017年の夏にミャンマーで激化した暴力から逃れるために、少数民族のロヒンギャの人びとが隣国のバングラデシュに逃れ、難民となっています。バングラデシュのコックスバザール南部では、70万人以上の難民が押し寄せています。ユニセフは、緊急支援活動を行うための資金として、約163億円を国際社会に要請しています。一刻を争う現地の状況に対し、必要な活動資金は半分も集まっていません。

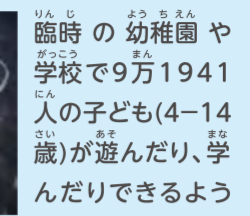
(Bangladesh : Humanitarian Situation report No. 37, 2018年8月, UNICEF)

ユニセフの支援の一例

2017年8月末の危機発生以来...



UNICEF/UN068431/Noorani
黒板で算数の問題を解くヤスミンさん(8歳)



UNICEF/UN091990/Sokri
心理ケアを通して辛い思い出が徐々にいやされてきました。

「子どもにやさしい空間」で14万1914人の子ども(4-14歳)が遊んだり、学んだりできるようになりました。



UNICEF/UN091990/Sokri
ロヒンソン麻己さん(ユニセフバングラデシュ事務所)

着の身着のまま、何日もかけて危険な道や川を渡ってきたロヒンギャの人たちにとって、世界中から届けられる支援は命綱です。みなさんからの支援で多くの「命」が助かっているだけでなく、勉強をしたり、安心して遊べたりすることで、将来への「希望」を見出している子どもたちもいます。

現場から!

エアアドル 子どもだって復興の力に!



© UNICEF/UN059603/Arcoos

大きな地震を経験したリベールくん(15歳)。被災地に設置されたユニセフの「子どもにやさしい空間」で小さい子どもたちの心のケアのボランティアをしています。勉強もがんばって、将来は科学者になるのが夢です。

ギリシャ 難民の人びとが直面した困難をおもって...

世界難民の日(毎年6月20日)を記念して開かれた文化交流フェスティバル。ギリシャの子どもたちが難民の人びとを歌

であたたかく迎え、多くの困難を乗り越えてきた難民の人びとの強さ、勇気、忍耐をたたえました。



© UNICEF/UN075731/Kyvenitis

タンザニア 携帯電話が大活躍

子どもたちが必要なケアを受けるために大切な出生登録。タンザニアはアフリカでもっとも出生登録率が低い国のひとつでした。そんなタンザニアで普及率の高い携帯電話が出生登録を進めるのに大活躍! ある地域では出生登録率が10.3%から95%以上になりました。出生登録をすることで、必要なケアを受けるチャンスも増えました。



© UNICEF/UN1188791/Boochey

日本 日本の学校でのユニセフ活動



社会科学習の時間を利用して、地域の皆さんと田植えと稲刈りを行い、そのお米を販売。売り上げを募金したよ!(三重県 桑名市立桑部小学校 5年生)

「持続可能な開発目標」って知ってる?



これは、2015年9月、ニューヨークの国連総会で、世界の国々が合意した世界の目標「持続可能な開発目標」。貧困を終わらせ、全ての人が平等な機会を与えられ、地球環境を壊さずに、この地球に暮らすすべての人びとがよりよい生活を送ることができる世界を実現するための17の目標です。あなたも力になれる目標がきっとあるはず。どんな目標があるのか調べてみましょう!

日本ユニセフ協会のホームページでも調べられるよ!

南スーダン 健やかに育つチャンスを。

ユニセフの支援する病院で、深刻な栄養不良と診断されたマリアちゃん(2歳)。幼いころの栄養の不足は、身体だけでなく知能の発達を遅らせ、その影響が生産にわたることもあります。マリアちゃんは、すぐにプランピーナッツ®やミルクで栄養治療を受けることができました。



© UNICEF/UN0152163/Gonzalez Ferran



© UNICEF/UN0152308/Gonzalez Ferran

▲栄養治療用ミルクを飲むマリアちゃん。病院に連れてこられた時の体重は6キロしかありませんでした。(日本の2歳女児の平均体重11~13キロ)
▲回復し、笑顔を見せたり、歩いたりできるようになったマリアちゃん。そんなマリアちゃんを見たおばあちゃんは「あんなに弱々しかったマリアが、また家に帰ってこられるなんて信じられない」と喜びました。

「分かるかな?」コーナーへ!

分かるかな?

みんなの募金はどんな支援になるでしょう?

- ① 100円で... 栄養不良の子どもたちの治療に使われる栄養治療食プランピーナッツ® 袋
- ② 1,000円で... 子どもの治療用ミルク(1缶9.6キログラム) 缶
- ③ 1つづつで... 1つづつ1円のこの赤いカプセル。免疫力を高め、病気から体を守るビタミンAが入っています。このビタミンAは 月間効果が続きます。

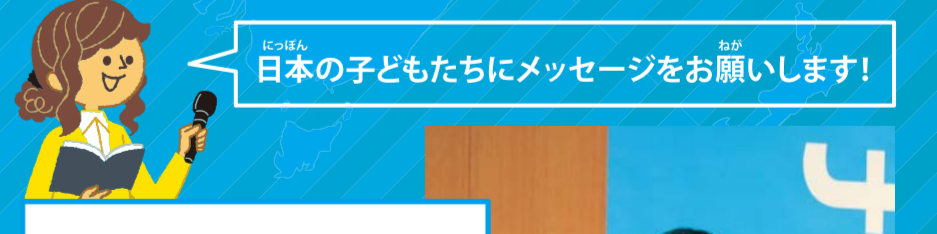


1錠で4~5リットルの汚れた水をきれいにできる浄水剤は1錠0.4円です。200円で調達できる浄水剤で何リットルの水がきれいにできるでしょう?

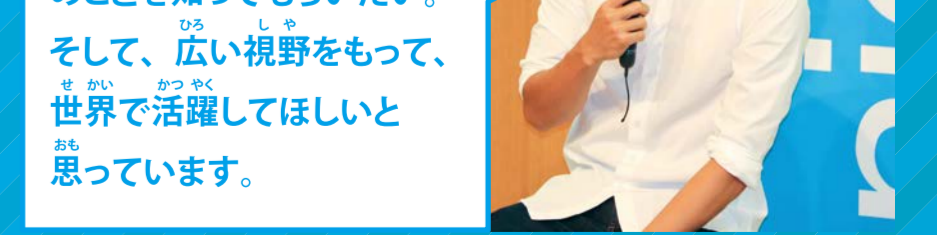


サッカーワールドカップ終了後、日本に帰国した長谷部 誠さん ユニセフハウスを訪問!

(サッカー選手・日本ユニセフ協会大使)



日本の子どもたちにも、世界の同世代の子どもたち、厳しい環境にいる子どもたちのことを知ってもらいたい。そして、広い視野をもって、世界で活躍してほしいと願っています。



長谷部さん「日本の子どもたちへのメッセージ」の動画が見られるよ! 子どもと先生の広場 検索

